



淀川区まちづくりセンターのスタッフが地域を訪問し、興味を持ったスポットや取り組みを紹介するシリーズ。

第14回目は、野中地域です。

### ①野々宮稲荷大神(野々宮神社)

野中福祉会館の隣にあるお社で、祭神は心神天皇と宇賀御霊神とされています。明治時代後期に神津神社に合祀されましたが、地域の方々などの寄付で再建されたそうです。敷地の中には二宮尊徳像や、重さ1俵(約60kg)の「力石」があり、昔はこの石を持ち上げることで一人前とみなされたといわれています。地域の皆さんに愛される野々宮稲荷大神。毎年春には「野々宮稲荷祭」が行われ、野中地域の安全と繁栄が祈願されます。



### ②ほそながあ〜い子どもの遊び場

十三市民病院の東側、マンションと住宅街の狭間に「ちびっこ広場」があります。幅4m弱、長さなんと60m弱に渡って続いている児童遊園の中には、味のあるジャングルジムやシーソー、うんていなどが一列に並んでいます。これらの遊具は車道から少し入ったところに置いてあり、飛び出しなどの心配が少ないためか、気候の良いお昼間には、たくさんの子ども達で賑わっています。



### ③脈々と受け継がれる物たち

淀川野中(郵便)局の隣に木々に囲まれた料理店があります。なんでも昭和の初めは郵便局だったとのこと。店に入ると、野中で製造されたタイガー手廻計算器や、郵便受、金庫など、当時の名残を感じさせる古い道具が店の至る所に置かれています。金庫の中から出てきたという戦時中の召集令状(赤紙)や、郵便局時代の古い写真は、郵便局を開設された方のお孫さんにあたる現店主が別途保管されているとのこと。戦火や震災をのがれ、郵便局から博物館等の機械模型を製作する工場を経て、料理店へと変貌を遂げた建物。中で息づく小道具たちの宝探しに訪れてみてはいかがでしょうか?



淀川区まちづくりセンター Facebook | 淀川区まちセン FB | 検索 | 地域情報発信中!!

## やまちゃんの「ごころ」

淀川区長 山本 正広



### 合言葉は「よ!ど!が!わ!」

4月17日に係員の人事異動があり平成29年度の淀川区役所の体制も確定しました。

その日の朝、新たな職員に話した内容をお伝えします。こんな職員になってほしいということ、覚えやすいように「よどがわ」を頭文字にして、「あいうえお作文」風にまとめました。

**「よ!」**喜びは区民の笑顔。どうやったら区民の皆さんに喜んでいただけるか、笑顔になっていただけるかを考えて仕事をしてください。私(区長)の顔色をうかがう必要はありません。

**「ど!」**どんなことでも思い切ってチャレンジ。区民の皆さんに喜んでもらえるなら前例がなくても挑戦してみよう。私は前向きな職員を応援します。

**「が!」**我慢しない。しんどい時は一人で抱え込まずに、周囲や上司に相談して一緒に解決しよう。

**「わ!」**笑いが一番。笑顔のあふれる職場をつくろう。自分が笑顔になっていなければ、区民の皆さんを笑顔にすることはできないと思います。

明るい職員と一緒に明るい淀川区へ!



職員と合言葉を共有。

